

事務事業マネージメントシート

作成日 平成31年 04月 25日

事務事業名	個人情報保護審査会事業				担当	総務部 総務課 総務文書係				
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり			増補版施策名					
施策名	3	開かれた市政の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業					
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠	真岡市個人情報保護条例、真岡市個人情報保護審査会規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成11年度～）				
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	1.一般管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				
事業概要	真岡市個人情報保護条例による、個人情報の開示、訂正等に対する処分の不服申立て及び個人情報保護制度の重要事項について、実施機関（市長〔水道事業管理者を含む〕、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会、議会及び公平委員会）の諮詢に応じて審査及び審議し、各実施機関に答申する。真岡市個人情報保護審査会委員は5名（大学教授や弁護士などの学識経験者）で任期2年である。									

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 個人情報保護審査会の開催 ・定例会 ・不服申し立て審議	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア：個人情報保護審査会開催回数	回	2	1	2	1	2	
イ：個人情報保護制度利用件数	件	21	12	29	25	30	
ウ：個人情報開示件数	件	21	12	29	24	30	
エ							
オ							
31年度計画 ・定例会の開催 ・不服申立て及び個人情報保護制度の重要事項について、諮詢があつた場合に開催する。	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア：諮詢された案件数	件	5	3	4	4	4
イ：不服申し立て件数	件	0	0	0	0	0	
ウ							
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 公平・的確に審議し答申する。	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア：答申された案件数	件	5	3	4	4	4
イ							
ウ							
エ							
オ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 個人情報が適正に保護される。	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア：適正に保護された個人情報の割合	%	100	100	100	100	100
イ							
ウ							
エ							
オ							
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投 入 量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	85	35	77	43
	事業費計（A）		千円	85	35	77	43
人 件 費	正規職員従事人數	人	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	65	33	65	33	65
人件費計（B）		千円	272	137	270	138	271
トータルコスト(A)+(B)			千円	357	172	347	181
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	不服申立てに対し、客觀性及び公平性を確保した審査を行うとともに、個人情報保護制度の重要事項について審議するため。						
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	情報公開や、個人情報を取り巻く法令が整備され、社会全体に浸透してきた。						
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？							